

平成23年12月

桑本聡史 学位論文審査要旨

主 査 井 藤 久 雄
副主査 山 元 修
同 林 一 彦

主論文

Association of Merkel cell polyomavirus infection with morphologic differences in
Merkel cell carcinoma

(メルケル細胞ポリオーマウイルス感染とメルケル細胞癌における形態学的相違との関
連)

(著者：桑本聡史、森裕美（旧姓：檜垣）、金井享輔、岩崎健、佐野仁志、長田佳子、
加藤郁、加藤雅子、村上一郎、堀江靖、山元修、林一彦)

平成23年 Human Pathology 42巻 632頁～640頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究はコンピュータ上での組織切片の画像解析により、メルケル細胞癌のMCPyV感染例と非感染例との間の形態学的差異を検討したものである。画像解析ソフトウェアを用いた詳細な検討により、両群間に統計学的に有意な形態学的差異が存在することが示された。この結果は両群間における生物学的差異を示している可能性があり、すなわちMCPyV感染例においてウイルスが発癌機序に関与していることを示唆するものである。加えてこの知見は、本症の予後に関連するとされるMCPyV感染の有無を組織切片上で簡便に推測できる手掛かりを与えるものである。これら本論文の内容は明らかに外科病理診断学分野の学術水準を高めたものと認める。